

No.	質問内容	回答内容
Q1	⑪隅木下端が④桁と⑥梁の内側面に突き付けになるのですが、この部分は必要ないのでしょうか。	競技課題の2. 仕様 (5) 部材の取合い仕口 6) 各隅木と各桁を参照してください。
Q2	競技課題平面図での⑪垂木受けの短ほぞの線が隅木側面の線に対して直角に見えるのですが、これは正しいものなのでしょうか。	競技課題図の⑦たる木受け詳細図を参照してください。平面図の線は、ほぞ長さ15mmを示している線です。
Q3	原寸図の作成において、⑮⑯たる木の展開図は4面必要ですか。	4面必要です。
Q4	⑩棟木及び⑪⑫⑬⑭隅木の上端は、山削り後に改めて加工墨の墨付けが必要ですが、山削り前の提出時にも、上端に全ての加工墨(隅木との取り合い等)の墨付けが必要ですか。	上端墨については山削り後、必要な墨付けが出来るのであれば無くても良いです。
Q5	側面図と展開図には平面図からの必要と思われる引出し線も描く事とありますが、各自の墨付けに必要な引き出し線の位置や本数に個人差が生じた場合、採点の公平性に影響はありませんか。	採点については回答できません。
Q6	各部材の木口型の向き(元口・末口・左右)はどちらでもよろしいですか。	どちらでも良いです。
Q7	方杖と柱のほぞが深さ18mm程度で干渉し、加工中にほぞ穴が貫通する可能性があるため、断面欠損と作業性を考慮し、干渉する側の方杖のほぞ先を胴付きに直角にしてよろしいですか。	競技課題2. 仕様 (5) 部材の取合い仕口_8) を参照して下さい。
Q8	各部材の取り合い墨、相手材の幅墨がすべて必要ですか。それとも加工組立に必要な墨だけでよろしいですか。	加工組立に必要な墨を付けて下さい。
Q9	柱および棟木の見え掛かりの木口に各部材の芯墨は必要ですか	①柱の上部見え掛け木口には必要ありません。
Q10	棟木の山削り面に⑪⑭隅木の芯墨は必要でしょうか?	必要です。
Q11	各隅木と⑯垂木の芯墨は各梁上端にも必要でしょうか?	必要です。